

2021年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年11月13日

上場会社名 トレンダーズ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6069 URL <https://www.trenders.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役会長 (氏名) 岡本 伊久男
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO (氏名) 田中 隼人 TEL 03-5774-8876
 四半期報告書提出予定日 2020年11月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第2四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	1,528	4.0	221	823.6	224	889.2	156	—
2020年3月期第2四半期	1,469	0.3	24	△92.4	22	△93.0	8	△95.6

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 156百万円 (—%) 2020年3月期第2四半期 2百万円 (△98.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	21.88	20.93
2020年3月期第2四半期	1.20	1.14

(注) 2021年3月期第2四半期の親会社株主に帰属する四半期純利益及び包括利益の対前年同四半期増減率は、1,000%以上となるため「—」と記載しています。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第2四半期	3,348	2,359	70.4
2020年3月期	3,434	2,364	68.8

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 2,356百万円 2020年3月期 2,362百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	0.00	—	14.00	14.00
2021年3月期	—	0.00	—	—	—
2021年3月期（予想）	—	—	—	—	—

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

2. 当社は定款において第2四半期末日及び期末日を配当基準日と定めておりますが、2021年3月期につきましては、現時点で当該基準日における配当予想額は未定であります。

3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,100	0.6	440	93.7	440	96.3	300	△9.4	41.98

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

連結業績予想については、本日（2020年11月13日）公表いたしました「2021年3月期通期連結業績予想に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期2Q	7,472,400株	2020年3月期	7,460,400株
② 期末自己株式数	2021年3月期2Q	395,258株	2020年3月期	300,210株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期2Q	7,146,421株	2020年3月期2Q	7,290,034株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料の入手方法）

四半期決算補足説明資料はT D n e t で同日開示しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループが属する日本国内のインターネット広告市場は、広告主の予算がテレビ、新聞、雑誌等のマス広告からインターネット広告へとシフトしており、市場規模は6年連続で2桁成長を遂げております。その結果、2019年のインターネット広告費は、初めてテレビメディア広告費を超え、2兆1,048億円となりました(株式会社電通調べ)。

しかし、このたびの新型コロナウイルス感染症の拡大によって、生活者のライフスタイル及び商品・サービスに対するニーズが大きく変化するとともに経済が先行き不透明な状況となっており、当社の顧客企業を含む多数の企業において、広告予算の縮小や広告手法等の見直しが発生しております。

こうした環境のもと、当社グループにおいては、顧客企業及び生活者のニーズに合致するデジタルマーケティングソリューションの開発・提供に注力し、価値が向上した営業投資有価証券の売却も実施いたしました。その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は1,528,248千円(前年同期比4.0%増)、営業利益は221,920千円(前年同期比823.6%増)、経常利益は224,351千円(前年同期比889.2%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は156,382千円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益8,764千円)となりました。

セグメント別の業績は以下のとおりです。

なお、前連結会計年度にギフトEC事業を営む連結子会社の全株式を譲渡したことに伴い、第1四半期連結会計期間より、「ギフトEC事業」を除いた、「マーケティング事業」「インベストメント事業」の2区分のセグメントに変更しております。

また、第1四半期連結会計期間より、各セグメントの実態をよりの確に把握することを目的として、各セグメントに対する全社費用の配分方法の見直しを行っており、以下の前年同期比較については、前年同期の数値を変更後の配分方法により組み替えた数値で比較しております。

①マーケティング事業

マーケティング事業は、企業のPR・プロモーションを主にデジタル・SNS領域で支援するBtoBの「マーケティングソリューション領域」、及び、当連結会計年度より本格的に開始した、ブランド・製品を開発し生活者に販売するBtoCの「ブランド開発領域」から構成されます。

本事業においては、マーケティングソリューション領域のインフルエンサーサービスと美容メディアであるMimiTVが好調に推移してまいりました。その結果、本事業の当第2四半期連結累計期間の売上高は1,095,707千円(前年同期比8.1%増)、セグメント利益は148,805千円(前年同期比199.0%増)となりました。

②インベストメント事業

インベストメント事業は、保有する資金を効果的、効率的に運用するため、未上場企業等への投資を行っております。

当第2四半期連結会計期間においては、営業投資有価証券の譲渡による収益、及び、営業投資有価証券として保有する社債の利息収益が発生しました。その結果、インベストメント事業の当第2四半期連結累計期間の売上高は432,541千円(前年同期比21.8%増)、セグメント利益は119,492千円(前年同期比160.6%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は3,348,411千円となり、前連結会計年度末に比べ86,294千円の減少となりました。主な要因は、法人税等や配当の支払い等により、現金及び預金が減少したことによるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債は989,241千円となり、前連結会計年度末に比べ80,748千円の減少となりました。主な要因は、未払法人税等や未払消費税等が減少したことによるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は2,359,169千円となり、前連結会計年度末に比べ5,546千円の減少となりました。主な要因は、自己株式取得によるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症の拡大により、合理的な見通しの算定が困難なことから未定としておりました。

現在においても同感染症は収束しておらず、収束の時期は不透明ではありますが、国内の経済活動が徐々に正常化に向かっていることを踏まえ、現時点において入手可能な情報等に基づき算定しましたので公表いたします。

2021年3月期第2四半期連結累計期間においては、新型コロナウイルス感染症の拡大によって経済が先行き不透明な状況に陥ったために、当社グループの顧客企業を含む多数の企業において、広告予算の縮小や広告手法の見直し等が発生しました。

第3四半期以降においても、企業の広告予算縮小の動きが継続する可能性はありますが、一方で生活者のSNS利用時間が増加したことに伴いSNSを活用したマーケティングを実施するニーズが増加していることや、当社グループにおいてライブ配信等の新しいマーケティングソリューションの開発・提供を積極的に行っていること等から、受注の状況は当第2四半期連結会計期間の後半から回復傾向にあります。

これらを踏まえ、2021年3月期の連結売上高は、ギフトEC事業が当連結会計年度より連結決算の範囲外となったことに伴う276百万円の減収要因がありながらも、前期比0.6%増の3,100百万円を予想しております。

連結営業利益は、ブランド開発領域を始めとする新規事業への先行投資を積極的に実施しつつも、マーケティング事業の増収に伴う売上総利益の増加や生産性向上による販管費の抑制等により、前期比93.7%増の440百万円、経常利益は同96.3%増の440百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は前連結会計年度に232百万円の特別利益を計上した影響により同9.4%減の300百万円を予想しております。

上記予想は本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	972,685	896,914
受取手形及び売掛金	560,343	808,754
営業投資有価証券	1,577,498	1,277,498
商品	2,176	10,932
仕掛品	33,440	21,615
その他	27,484	92,352
貸倒引当金	△893	△1,177
流動資産合計	3,172,734	3,106,889
固定資産		
有形固定資産	105,363	97,917
無形固定資産		
のれん	25,832	13,909
その他	22,717	26,344
無形固定資産合計	48,550	40,254
投資その他の資産	108,057	103,349
固定資産合計	261,970	241,522
資産合計	3,434,705	3,348,411
負債の部		
流動負債		
買掛金	152,094	127,777
短期借入金	600,000	600,000
未払法人税等	130,915	64,397
資産除去債務	—	9,736
その他	157,808	167,856
流動負債合計	1,040,817	969,767
固定負債		
資産除去債務	29,171	19,473
固定負債合計	29,171	19,473
負債合計	1,069,989	989,241
純資産の部		
株主資本		
資本金	555,369	556,171
資本剰余金	534,369	535,171
利益剰余金	1,476,759	1,532,899
自己株式	△204,415	△267,707
株主資本合計	2,362,082	2,356,536
新株予約権	2,633	2,633
純資産合計	2,364,715	2,359,169
負債純資産合計	3,434,705	3,348,411

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
売上高	1,469,470	1,528,248
売上原価	927,639	854,442
売上総利益	541,830	673,806
販売費及び一般管理費	517,802	451,886
営業利益	24,028	221,920
営業外収益		
助成金収入	—	1,564
雑収入	140	3,464
その他	1	1
営業外収益合計	142	5,029
営業外費用		
支払利息	1,490	2,590
その他	—	7
営業外費用合計	1,490	2,597
経常利益	22,679	224,351
税金等調整前四半期純利益	22,679	224,351
法人税、住民税及び事業税	14,555	63,261
法人税等調整額	6,053	4,707
法人税等合計	20,608	67,969
四半期純利益	2,070	156,382
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△6,693	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	8,764	156,382

(四半期連結包括利益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益	2,070	156,382
四半期包括利益	2,070	156,382
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	8,764	156,382
非支配株主に係る四半期包括利益	△6,693	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	22,679	224,351
減価償却費	14,002	11,740
のれん償却額	15,333	11,922
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△533	284
受取利息及び受取配当金	△1	△0
支払利息	1,490	2,590
助成金収入	—	△1,564
売上債権の増減額(△は増加)	261,364	△248,411
たな卸資産の増減額(△は増加)	△12,301	3,069
営業投資有価証券の増減額(△は増加)	△10,010	300,000
仕入債務の増減額(△は減少)	△103,624	△24,316
未払又は未収消費税等の増減額	13,926	△18,237
その他	△29,152	△47,571
小計	173,174	213,856
利息及び配当金の受取額	1	0
利息の支払額	△1,490	△2,590
助成金の受取額	—	1,564
法人税等の支払額	△99,687	△118,936
営業活動によるキャッシュ・フロー	71,998	93,894
投資活動によるキャッシュ・フロー		
無形固定資産の取得による支出	△7,050	△8,133
その他	△50	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△7,100	△8,133
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△51,462	△63,291
配当金の支払額	△94,495	△99,846
新株予約権の発行による収入	70	—
株式の発行による収入	—	1,605
財務活動によるキャッシュ・フロー	△145,888	△161,532
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△80,989	△75,771
現金及び現金同等物の期首残高	770,445	972,685
現金及び現金同等物の四半期末残高	689,455	896,914

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	合計 (注) 2
	マーケティング 事業	ギフトEC 事業	インベストメ ント事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,013,228	101,123	355,117	1,469,470	—	1,469,470
セグメント間の内部売 上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	1,013,228	101,123	355,117	1,469,470	—	1,469,470
セグメント利益又は セグメント損失(△)	49,768	△33,004	45,847	62,611	△38,583	24,028

(注) 1. セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額△38,583千円は、全社費用であります。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	合計 (注) 2
	マーケティング事業	インベストメント事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,095,707	432,541	1,528,248	—	1,528,248
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,095,707	432,541	1,528,248	—	1,528,248
セグメント利益又はセグメント損失(△)	148,805	119,492	268,298	△46,378	221,920

(注) 1. セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額△46,378千円は、全社費用であります。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、各セグメントの実態をよりの確に把握することを目的として、各セグメントに対する全社費用の配分方法の見直しを行っております。また、前連結会計年度にギフトEC事業を営む連結子会社の全株式を譲渡したことに伴い、第1四半期連結会計期間より、「ギフトEC事業」を除いた「マーケティング事業」「インベストメント事業」の2区分のセグメントに変更しております。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の全社費用の配分方法に基づき作成したものを開示しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。